

こうさく
工作・じっけん
実験フェア2012

かがく ひら
科学のとびらを開こう

エネルギーって何？ロボットの仕組みはどうなっている？
ものづくりや実験をして、これまで知らなかったことを知ったり、
わくわくできるプログラムを
たくさん準備します。
夏の日、
おともだちやお父さん、お母さんと
一緒に大学のキャンパスで、
楽しく学びましょう。

日時： 2012年**9月1日(土)**
10:00~16:00

会場： 大阪工業大学
大宮キャンパス

参加費： 無料

主催：大阪工業大学
企画・運営：大阪工業大学工学部
<http://www.oit.ac.jp/>

常翔学園グループ 大阪工業大学 摂南大学 広島国際大学
常翔学園中学校 常翔学園高等学校
常翔啓光学園中学校 常翔啓光学園高等学校



開催プログラム

事前予約が必要なプログラム(1~39)と、当日自由に参加できるプログラム(40~79)を用意しました。

事前予約が必要なプログラム

番号	プログラム名称・担当者	イメージ写真
1	紙粘土で作る理想のおうち 自分で住んでみたいと思う家を紙粘土でつくってみます。自分の考えをかたちにする建築の世界を少し体験してみましょう。 建築学科の吉村先生、林田先生、岡山先生	
2	90分間でつくる未来の建築 壁と床でつくる小さな模型をつかって、想像力を働かせながら、未来の建築をつくってみましょう。 建築学科の寺地先生、本田先生、前田先生	
3	鳥の巣みたい? 不思議なドームをつくってみよう! 自宅に飾るオブジェとして、テンセグリティドームを作ります。透明輪ゴムとプラスチックの丸棒を使って、このユニークなアイデアを体験してみよう。 建築学科の林先生、馬場先生、吉敷先生	
4	自分で考え、自分で動く!《自律移動ロボット》の手作り開発 赤外線センサの【目】で見て、電子回路の【頭脳】で判断し、2連式音波推進モーターの【足】でコースを駆け抜ける…そんな手のひらサイズのロボットを手作りします。完成したらタイムアタックにチャレンジ!! ロボット工学学科の小林先生	
5	人工筋肉型ロボットアームを作ろう 形状記憶合金を使った人工筋肉型ロボットアームを作って、動作音も無く、生き物のような動きを感じてください。また、人工筋肉の力試しにも挑戦してみましょう。 ロボット工学学科の辻田先生	
6	かんたん、便利。LED懐中電灯作り 白色発光ダイオード(LED)を用いた簡易な懐中電灯づくりを通じてLEDが光る仕組みを理解します。 ロボット工学学科の奥先生	
7	氷がとけるときの、温度はどうなってるの? 氷が水に融けるときの多くの熱を周りから奪う。こうした熱のことを潜熱と呼ぶんだ。潜熱で、氷の温度はどう変化する? 測ってみよう。 機械工学学科の松島先生	
8	ゴム動力飛行機を飛ばそう ゴム動力の模型飛行機を作って、飛ばします。空気の流れを考えてよく飛ばすように工夫します。 機械工学学科の小池先生	
9	光硬化プラスチックでオリジナル携帯ストラップを作ろう 不思議! やわらかいプラスチックが光をあてると硬くなる! この原理でオリジナル携帯ストラップを作ろう! 機械工学学科の西川先生	
10	3次元CADを使ってみよう。オリジナルハンコづくり 3次元CADソフトを使ってオリジナルの「ハンコ(判子)」を作ってみよう! 自分が作ったデータが実際にちゃんとかたちになるかどうか?!! 機械工学学科の井原先生	
11	音って、ふしぎ! 楽器を作って、演奏してみよう 世界各地に伝わる伝統的な楽器を製作して、演奏。音の不思議と原理を体験します。完成品は持ち帰って楽しんでください。 機械工学学科の吉田先生	
12	レゴブロックでロボットを作ろう おもちゃのレゴブロックを使い、モーターとセンサとマイコンを組み込んで、黒いラインの上をなぞるロボットを製作します。 機械工学学科の牛田先生	
13	水中モーター船を作ってプールで遊ぼう 発泡スチロールを使った模型船作り。組み立て式水中モーターと電池で動かし、モーターのしくみや防水の方法を学びます。できあがったら、競技をします。 機械工学学科の加藤先生	
14	風車を作って発電してみよう ペットボトルで風車を作ります。風車にモーターを取り付けて、発電するのをLEDランプが点灯するかどうかで確かめます。 機械工学学科の川田先生	
15	ガラスをとかしてキーホルダーを作ろう! 七宝焼きのキーホルダー作りをとおして、ガラスの融点や色ガラスの発色について学びます。 生命工学科の芦高先生、外波先生	
16	外来魚釣りやプランクトンの観察 外来魚の釣り体験と顕微鏡によるプランクトン観察。生きものたちの関係を理解します。午前、午後とも2組に分かれて、(A)プランクトン観察と(B)外来魚釣りの二つのプログラムを交代で行います。*雨天時はプランクトンの観察のみ 都市デザイン工学科の綾先生、一般教育科の小島先生、三橋先生	
17	未来のエネルギーを使った自動車づくり 太陽光で動くソーラーカーや食塩水を使う燃料電池車の模型づくりを通して、未来のエネルギーについて学びましょう。また作った車でレースをします。 *雨天時はレース中止 機械工学学科の中川先生	
18	簡単アニメプログラミング キーボード入力さえできれば、プログラムを作ったことのない人でも、簡単にアニメーションのプログラムができます。自分だけのアニメを作ろう! *USBメモリ等を持参すれば持ち帰り可能 電子情報通信工学科の原嶋先生	
19	太陽光で走るF1ミニカー 太陽光で動くF1ミニカーを組み立てます。組み立てを楽しみながら、自然エネルギーの大切さを学びます。ニッパーを用いて工作するので、低学年のお子様の場合は、保護者の手助けが必要ですよ。 電子情報通信工学科の小池先生	
20	紙コップでスピーカーを作ろう エナメル線でコイルを作り、紙コップをつかって簡単なスピーカーを作ります。スピーカーの構造や音のなるしくみが実感できますよ。 電気電子システム工学科の木村先生、重弘先生	
21	陶芸で遊ぼう 自在に変わる土を触って形を作り出すことによって、ものづくりの楽しさを体験してください。 *後日、作品を引き取りに来ていただける方 ※汚れてもよい服装で参加していただくか、エプロンを持参してください。 総合人間学系教室の大谷先生	
22	作って遊ぼう! ホバークラフト製作 ホバークラフトが動くしくみを理解しよう。いろいろな工作道具に触れながら、安全で正しい使い方も学びます。 ものづくりセンターの岩田先生	
23	ポンポン船で蒸気の実感しよう 水蒸気は機関車を走らせ、電気も作ることができます。この水蒸気の実感するため、簡単なポンポン船を作り、実際に走らせ船の動くしくみを理解します。 ものづくりセンターの井上先生	
24	あま〜い! 綿菓子器。作って・食べて 甘くて美味しい綿あめを作る綿菓子器を作ろう。 ものづくりセンターの花田先生	
25	LEDライトを作ろう キャンプに最適。白色LEDライト作りを通し、構造を学びながらものづくりの楽しさを体験しよう。 ものづくりセンターの小川先生	
26	森の工作 ドングリやマツボックリなど自然の素材を使って、想像力をはたかせながら、様々な形の置物を作りますよ。 ものづくりセンターの小川先生	
27	PICマイコンカーを作ろう 電子回路って不思議だね。部品を組み合わせて電子工作とマイコンカー製作にチャレンジしよう。 ものづくりセンターの近藤先生	
28	川や池の水をきれいにしてみよう ペットボトルと砂と炭を使って浄化装置を作成し、水をきれいにする実験を行います。水質の測定も行います。水道水を作る時と同じ操作ですので、浄水プロセスを学ぶことができます。 環境工学科の学生有志	
29	木箱のオルゴール 木箱のふたを開けるとオルゴールが鳴ります。お気に入りのイラストを絵具で塗って…世界に一つの宝宝箱の完成。 ものづくりセンターの中村先生	
30	三原色ライトを作ろう 三原色LEDとスイッチや電池などをはんだづけして基板を組み立てます。自然光と作ったライトで見え方を比べて色や光について学習しよう。 ものづくりセンターの山下先生	
31	レンズを使って望遠鏡を作ろう レンズは光を集めます。レンズを組み合わせると望遠鏡になるのはなぜだろう。投映鏡や、ケプラー式とガリレイ式の望遠鏡を作って調べます。 ものづくりセンターの山下先生	
32	和紙でつくるランプシェード 風船を膨らませ、その上に和紙を張り付けます。糊が乾いたら見事、完成。4色のLEDライトがいかに幻想的なランプシェードを作りましょう。 ものづくりセンターの池田先生	
33	飛べ! 手作りペーパーグライダー グライダーを作って飛ばします。よく飛ぶためにはどのような工夫が必要でしょうか? 考えながら作ります。 ものづくりセンターの佐々木先生	
34	太陽電池で相撲ロボットを作ろう! 太陽電池でモーターが動くロボットを作ります。外装はペーパークラフトで作製します。最後に出来上がったロボットで対戦しましょう。今年は去年よりちょっとだけ作るのを簡単にしました。 ロボット工学学科の廣井先生	
35	ペットボトルロケット製作・打上げ大会 ペットボトルロケットを作り、打上げます。ロケットの原理を簡単な実験を交えて学びましょう。親子で参加してください。 機械工学科の田原先生	
36	親子のための爆走レースーペットボトルレーシングカーづくり 力学の原理を理解します。作用反作用の原理を理解できる簡単な教室実験ののち、レーシングカーの製作とレースを行います。 機械工学科の田原先生	
37	リサイクル技術でスタンプづくり 発泡スチロールのリサイクルに使われる「容積を減らす技術」を応用して、自分だけのオリジナルスタンプを作ります。 環境工学科の笠原先生	

下線の付いた数字のプログラムは、製作物の持ち帰りはできません。★の付いた数字のプログラムは、整理券を配布します。

番号	プログラム名称・担当者	イメージ写真
38	食用油からキャンドルを作ろう 加熱しながら天ぷら油に油脂を加えて溶かし、よくかき混ぜた後、放置すると固まります。これにクレヨンなどで着色してキャンドルを作ります。 応用化学科の澁谷先生	
39	分光器で光をわける 紙で作ったケースの中にCDを入れて光を分ける分光器を作ります。蛍光灯やLED、電球などの色々な光をわけて、日常目にする光が、色々な色からできていることを学びます。 応用化学科の藤森先生	
自由に参加できるプログラム		
40	オリジナルペーパーカーで坂道レースに参戦 自分のイメージの車を作ります。作った車で坂道レースをします。遠くまで走れるようにタイヤや車の形を工夫します。 機械工学科の学生有志	
41	ものまねアームでお絵かき! 宇宙や海底、手術室などで働くロボットアームは、操作する人と同じ動きをします。簡単なパンタグラフという道具を使って、操作が拡大縮小される仕組みを体験し、大きく小さく絵を描いてみよう。ロボット工学科の河合先生	
42	ストロー飛行機 ストロー、紙、クリップで飛行機を作ります。重りの位置や尾翼の形をよく飛ばすように調節します。 機械工学科の学生有志	
43	ビニール袋ロケットで、的当てゲーム 羽を曲げると回転しながら飛びます。回転方向の調節や遠くまで飛ばす工夫をします。作ったロケットでゲームをします。袋は、3つのサイズを準備します。 機械工学科の学生有志	
44	かんたん紙トンボ 羽の形やひねり方を工夫してよく飛び紙トンボをつくりましょう。羽の色を工夫すると飛んでいるときにきれいです。 機械工学科の学生有志	
45	手作りモーターに挑戦。動くかな? わたしたちの身の回りにはモーターを身近な材料を使って手作りし、そのはたらきや仕組みについて学びます。 電気電子システム工学科の見市先生	
46	オリジナル小物入れ 紙筒をデコレーションしてかわいい小物入れを作ります。 機械工学科の学生有志	
47	アルミや銅でつくるオリジナルグッズ アルミ、黄銅、銅の3種類の金属で、世界にひとつだけのペンダントを作ります。力を加えると形が変わり、もとに戻らない金属の性質「塑性」について学びます。 機械工学科の羽賀先生	
48	くるりんプレスレット 圧延とロール曲げという方法でアルミのプレスレットをつくります。デザインは自由です。力を加えると形が変わり、もとに戻らない金属の「塑性」という性質を利用します。 機械工学科の羽賀先生	
49	機械・電子部品でつくるオリジナルグッズ ネジやLEDライトなどの部品をホットボンドで接着。オブジェやペンダントを作ります。 機械工学科の学生有志	
50	形が変わる不思議な液体を体験しよう 力を加えることによって固体化するダイラタント流体の不思議を体験してみましょう。小瓶の中に流体を入れ、振り加減によって液体の形が変わります。 機械工学科の中川先生	
51	力の大きさを耳で感じてみよう 水晶に電気をつなぐと振動します。水晶の振動をスピーカーにつないで音に変えます。この音を聞いて水晶にかかっている力を当ててごらん。 機械工学科の村岡先生	
52	圧電ライトを作ろう!! いろんな色のLEDを使ったオリジナルのライトをつくります。シャカシャカして発光する究極のエコを体験しよう。 機械工学科の上田先生	
53	不思議な音の世界 ―音の間違い探し― 立体的な音(3D音響)を体験。本物の音と再生した音の違いがわかるかな? 正解の数だけお菓子をプレゼントします。 機械工学科の吉田先生	
54	あなただけの街をつくってみよう! コンピュータソフト(SimCity)を使って、都市づくりに挑戦してもらいます。デモ映像も上映します。 都市デザイン工学科の岩崎先生	
55	世界のクワガタ虫・カブト虫 世界のクワガタ虫・カブト虫の成体・標本を展示します。ヘルクレスオオカブトなど、実際に触ってみよう。種類当てクイズなども行います。* 定員に限りはありませんが、クイズの景品は100名程度です。 機械工学科の桑原先生	
56	ドルフィンジャンプ ペットボトルでドルフィンの形を作って、水中からジャンプ。飛び上がった高さを競います。浮力が発生する仕組みや水の抵抗について学びます。 機械工学科の川田先生	
57	楽しい香りを作ってみよう! いろいろな天然香料や合成香料の香りを記憶した後、これらを調合しながら、好みの楽しい香りを作ってください。調合によって、予想外の香りができあがることもあります。 *アレルギー体質者注意 生命工学科の寺井先生、大植先生	
58	色素で学ぶ緑の光合成 緑の葉に含まれる黄色の色素と緑の色素をシリカゲルクロマトグラフを使って、分けてみよう。植物の光合成と栄養について、学習できます。 生命工学科の吉浦先生	
59	食べ物は酸?アルカリ?植物で調べよう。 普段食べている食品は、酸性?それともアルカリ性?食品をすり潰して、そこに野菜から作った液体を加えて色の変化を観察します。スーパーで手に入るものだけで、化学実験してみよう。 生命工学科の大森先生	
60	ごみ収集車って、どんなしくみ? ごみ収集車の模型を、ボール紙で作ります。車のしくみとごみ収集の仕事の役割を紹介します。色々な都市のごみ収集車の写真も展示しています。 環境工学科の福岡先生	
61	光の世界をのぞいてみよう 偏光板とセロハンテープを利用して光のカラフル万華鏡を作ります。2枚の偏光板の間にさんだ透明なセロハンテープの枚数(厚さ)の違いで、色の模様に変化する不思議な光のふるまいを観察し、その性質について理解します。一般教育科の中村先生、原田先生、藤元先生	
62	立体図形にふれよう 算数で学ぶ図形は、ふだんは教科書で見るだけの人かほとんどでしょう。実際に立体図形を作って触れてみましょう。 一般教育科の鎌野先生	
63	ランプをつけるゲームで遊ぼう 単純明快なルールのゲーム「領域選択ゲーム」をタッチパネルを使って体験してみましょう。数学の(結び目理論)を応用したゲームです。 一般教育科の岸本先生	
64	割りばし鉄砲の制作と射的大会 身近な材料を工夫して遊び道具をつくらう。手を動かして考えよう。自分で作るとゲームより楽しいよ。出来上がった鉄砲で射的大会に参加しよう。ドイツの音楽によって風船割りにチャレンジ! 空間デザイン学科の宮岸先生、福原先生	
65	デジタルなにわ・デジタル高槻城 VR(バーチャルリアリティ)システムを使って、江戸時代と現代の3次元都市空間をプライスルー・ウォークスルーして、大阪の歴史的な変遷を体験します。 都市デザイン工学科の吉川先生、田中先生	
66	アルミホイルでつくった船、磁石で動かかな? 家庭にある身近な材料で、船を作り動かしてみます。磁石に付かない材質でも物によっては磁力の働きで動かすことができるおもしろさを体験。 電気電子システム工学科の森實先生	
67	ICを使ったおもしろ電子工作 マイコンICを使った簡単な電子回路で「てのひらサイズのスロットゲーム」を作ります。電子工作を楽しみながら、ICやLEDなどに親しみます。 電気電子システム工学科の吉村先生	
68	レモン電池で電子オルゴールを鳴らそう! レモンで電池を作りましょう。作った電池で電子オルゴールを鳴らし、電気の通り道について考えます。使った電子オルゴールは、そのまま差し上げます。 電子情報通信工学科の矢野先生	
69	シャーペンの芯と瓶で電球作り 電球は、どんなしくみ?なぜ、光るの?身近な材料で実際に光る電球を作りながら、学びます。* 手持ちのジャム瓶でも作れます。 電子情報通信工学科の藤村先生	
70	乾電池1個で?白色LEDランプが点灯 白色LEDは、通常乾電池を2個以上使わないと光りません。簡単な回路を組んで乾電池1個でも光るようにします。電子回路の面白さを味わいましょう。 電気電子システム工学科の吉田先生	
71	きれいな虹色(にじいろ)の箱 カラーセロファンとアルミホイルを使って虹色(にじいろ)に光る小さな箱を作ります。光を当てると幻想的でとても不思議な感じがします。光や色の合成についても学びます。 電気電子システム工学科の前元先生	
72	エコカーに乗ってみよう 競技用ソーラーカーの試走見学と、ミニソーラーカーや電動バギーの試乗 *雨天時は中止 機械工学科の中川先生、羽賀先生	
73	ソーラーカー、フォーミュラカー、レスキューロボット、人力飛行機の展示 大学生がアイデア、設計、機械工作、組立て、競技会に出場しているものを展示します。実際につくったメンバーが分かりやすく説明してくれるよ。 ものづくりセンターの池田先生	
74	葉脈標本でしおり作り 植物の葉脈は、水や栄養分を送る役目をする管。葉脈標本を作り、それを着色した後、しおりにします。葉脈の持っている自然の造形美にふれます。 応用化学科の東先生	

75 ひんやり冷たい! 即席、冷却パック作り
物質が水に溶けると、発熱したり吸熱したりするという現象を肌で感じて、化学の面白さや不思議さを知ります。家庭にあるモノで即席の冷却パックを作ります。
応用化学科の森内先生

76 オリジナルアクセサリを作ろう
ペットボトルや梱包に使われていたプラスチックをリサイクルして、世界にたった一つだけのかわいいアクセサリを作ってみよう。
応用化学科の東本先生

77 ミクロの世界を覗いてみよう
身近な昆虫や花、あるいは植物繊維などをデジタルマイクروسコープで観察します。自然界に存在する素晴らしい構造を知ろう。
応用化学科の棚橋先生

78 かわいいマイキャンドルづくり
粘土細工でキャンドルをつくります。簡単な実験を体験して、研究者になった気分を味わいましょう。粘土の性質について学びます。きれいな色のかわいらしいキャンドルができます。
応用化学科の中辻先生

79 テープのりで塗り絵に挑戦しよう!
最先端の化学を駆使したスグレモノ文具の「便利」を体験しよう。そのひとつ「テープのり」を使って塗り絵に挑戦してみよう。上手に色付けできるかな?
応用化学科の村岡先生

KIDS ROOMを開設します

- 風船パワー模型ロケットの製作・打ち上げ大会
- ロケット・人工衛星の模型製作(ペーパークラフト)
- 太陽系惑星(月、火星、金星など)の球形模型製作(ペーパークラフト)
- ロケット・人工衛星の飛翔シーンの塗り絵
- 惑星探査ゲーム-コイン落しー など

5分から30分で遊びながらできるプログラムを準備しています。休憩などにもご利用いただけます。

下線の付いた数字のプログラムは、製作物の持ち帰りはできません。
★の付いた数字のプログラムは、整理券を配布します。

■大宮キャンパスへのアクセス



! 駐車場はございません。自家用車のご来校はご遠慮ください。

■参加していただくにあたって

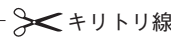
- 保護者付添
会場にあたっては、必ず保護者の付添をお願いします。(保護者1名につき、小学生1名まで)
- 天候による内容変更の可能性
プログラムによっては、当日の天候条件によってやむなく内容を変更する可能性があります。
- 昼食について
大学の食堂、カフェテリアをご利用いただけます。飲み物の自動販売機もあります。
- 暑さ対策
当日の天候、気温に応じ、帽子の着用や水分補給などの対策をお願いします。
- パンフレット持参
当日は本パンフレットを持参してください。
- キャンパスマップ
当日正門受付にて、会場マップをお渡しします。

■来校には公共交通機関をご利用ください

駐車場はございません。自家用車のご来校はご遠慮ください。

■皆さまからの申込みにより本学が保有する個人情報の取り扱いについて

今回の申込みにより皆さまから寄せられる個人情報は、本プログラムの実施・運営のみを目的に、本学で保有するものです。ご本人の承諾なしに第三者に開示・提供することは、いたしません。但し、受付業務に關しましては正当な利用目的の範囲内において、機密保持契約を締結した業務委託先の事業者に預託しており、当該業務委託者の個人情報の取り扱いについては、本学が正しく監督いたします。上記の個人情報の取り扱いにご同意のうえ、申込みをお願い申し上げます。



大阪工業大学 工作・実験フェア2012 事前予約プログラム受付完了連絡

〈本用紙は当選ハガキではありません〉

この度は、大阪工業大学「工作・実験フェア2012」プログラムにお申し込みいただき、有難うございます。受付番号を次のとおり連絡します。下記、注意事項にご留意願います。

受付番号

【注意事項】

- ・本用紙は当選ハガキではありません。
- ・定員を超えて多数応募いただいたプログラムについては、**抽選**となります。
- ・抽選結果は、大学のホームページのトップページで行います。
(<http://www.oit.ac.jp/> 8月中旬に発表予定)
- 参加プログラム・時間帯の欄に受付番号があれば当選です。
- ・**当選したプログラムのみ参加いただけます。**本ハガキが参加証になります。9/1(土)当日に各プログラム会場で確認しますので、大切に保管してください。
- ・プログラム開始時間10分前に各プログラム会場に集合してください。各プログラムは時間どおりスタートしますのでご了承ください。
- ・各プログラムとも実施時間ごとに参加者が決まっています。他の時間に変更することはできませんのでご注意ください。
- ・抽選にもれた方は、当日受付を行う自由プログラムに参加いただくことができます。
- ・8/21(火)以降は、右の二次元コードでも抽選結果を確認できます。
(<http://www.oit.ac.jp/bme/kjf/>)



往 信 は が き

50円切手を貼ってください

560-8567

大阪工業大学
工作・実験フェア2012事務局 行

(株)廣濟堂内

豊中市蛸池西町2-2-1

必ずこちらの面を外側に折ってください。郵便に支障が出る場合があります。

申込みから参加までの手続き

お問合せ先：(株)廣済堂内 大阪工業大学 工作・実験フェア2012事務局
☎06-6855-1384【月～金 10:00～17:00(祝日・8/11～15を除く)】

自由に参加できるプログラム（プログラムNo.40～79）

- ① 整理券を配布するプログラムは開催日9/1(土)当日9:30から「大阪工業大学(大宮キャンパス)正門受付」にて受付を開始します。
- ② 各プログラムとも定員があります。材料がなくなり次第終了致しますのでご了承ください。
- ③ 受付の混雑により長時間お待ちいただく場合がありますのでご了承ください。

事前予約が必要なプログラム（プログラムNo.1～39）



① 往復ハガキで申込み(本用紙の下半分が往復ハガキのフォームになっています。)

- ・本用紙の『事前予約プログラム申込みシート』に必要事項を記入、また、返信ハガキの宛名に返信先の郵便番号・住所・氏名(ご本人)を記入してください。
- ・往復ハガキ、返信ハガキの両方に50円切手を貼ってください。
- ・申込締切は8月1日(水)消印有効です。
- ・より多くの方に参加いただくために、事前予約プログラムへの参加は、ひとりにつき1プログラムとさせていただきます。したがって、ひとりハガキ1枚のみ受付します。
- ・ひとつのプログラムに複数回申込みされた場合でも、1件の申込みとして受け付けます。
- ・1枚で複数人の申込みはできません。兄弟姉妹で申し込む場合でも1人1通の往復ハガキで申込みをお願いします。

② 受付番号記載、返信ハガキを受理

- ・申込みハガキに受付番号を記載した返信ハガキが大学から届きます。
- ・受付番号をご確認ください。
- ・返信ハガキは参加証を兼ねていますので大切に保管してください。
- ・各プログラムの申込状況を大学のホームページのトップページでご覧いただけます。(http://www.oit.ac.jp/)

③ 抽選結果を大学HPで確認

- ・定員を超えて多数応募いただいたプログラムについては、抽選となります。
- ・抽選結果(参加いただけるプログラムと時間帯)の発表は、大学のホームページのトップページ(http://www.oit.ac.jp/)で行います。(8月中旬に発表予定)

④ 当選された方のみ参加可能

- ・当選された方のみプログラムに参加いただけます。なお、参加いただける時間帯も抽選で決定しますので、ご了承ください。
- ・9/1(土)に受付番号が記載された返信ハガキをご持参のうえ、各プログラム会場でご提示願います。(事前予約プログラムの受付開始時間は9:30から)
- ・各プログラムは時間どおりスタートしますのでご了承ください。
- ・抽選にもれた方は、当日受付を行う自由プログラムに参加いただくことができます。各プログラムとも定員があります。混雑し、長時間お待ちいただく可能性もありますので、ご了承ください(定員に限りがございますのでお早めのご来場をお願いします)。

✂ キリトリ線

大阪工業大学 工作・実験フェア2012 事前予約プログラム申込みシート

本シートに必要事項を記入し、上のキリトリ線で本用紙を切り取り、50円切手を往復・返信ハガキに貼付し郵送願います。(50円切手2枚必要)
<申込締切:8月1日(水)消印有効>

希望プログラムの番号記入欄

(参加希望のプログラム番号(1～39)を第1～3希望の欄に記入してください。どのプログラムでもよい場合は「どれでも可」欄に○印を記入してください。)

(a)抽選に外れた場合、その他のプログラムでも可、(b)1～39のどのプログラムでも可

	第1希望	第2希望	第3希望	どれでも可(○を記入)	
				(a)	(b)
参加小学生	ふりがな				
	氏名				
	学校名・学年	小学校	年		
保護者・連絡先	ふりがな				
	氏名				
	住所	〒	-		
	電話	() () () () () ()			
	FAX	() () () () () ()			
※大学記入欄(この欄は記入しないでください。)					
受付番号					

50円切手を貼ってください

返信はがき



必ず「たにおり」にしてください。

〒560-8567 豊中市蛸池西町2-2-1 (株)廣済堂内
大阪工業大学 工作・実験フェア2012事務局

返信先の郵便番号・住所・氏名(本人)を記入してください。

■地域に開かれた学びの場をめざして

大阪工業大学 学長 工学博士 井上 正崇

大阪工業大学は工学部、情報科学部そして知的財産学部の3学部を有し、大宮そして枚方にあるふたつのキャンパスで、約8,000名の学生が学んでいます。1922(大正11)年、建学。以来、「世のため、人のため、地域のために」理論に裏づけられた実践的技術を持ち、現場で活躍できる専門職業人の育成」を行う」ことを教育理念に掲げ、これまで日本の発展に貢献する人材を数多く輩出しています。その教育は、徹底した実践主義で行われ、教員が学生と共に課題を共有し、密接に関わりながら知識、技術の体得と人間性の向上を促すことに特色があります。現在、本学では持続可能な社会の実現に向けて、環境共生を配慮した様々な学生主体のプロジェクト活動を活発に行っています。例えば、学内の廃棄物を利用してリサイクルエネルギーを活用するOITキャンパスエコプロジェクトやソーラーカープロジェクト、ロボットプロジェクトなどがあります。ソーラーカープロジェクトは、2011年8月に開催された「FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿2011」に出場し、DREAMクラス3位、総合7位の成績を残す活躍を見せました。また、秋田県で開催された「ワールド・グリーン・チャレンジ・ソーラー&FCカー・ラリー」に出場し、ソーラーカー部門で見事チャンピオンに輝きました。ロボットプロジェクトは、「NHK大学ロボコン2011」で、初挑戦・初出場ながらベスト8に入賞し、第11回レスキューロボットコンテストでは「レスキュー工学大賞」を受賞しました。

東日本大震災の甚大な影響により、我が国は経済的にも厳しい状況にあります。この国を再び活力あるものにするため、グローバルな世界で通用する技術力を磨くと同時に、未来を担う子供達の理科教育にも一層の配慮が求められています。本学は、真に活躍できるエンジニアを育成するために、ものづくり教育や環境教育をカリキュラムにも反映させた丁寧な教育を行っていますが、これらで培ってきた教育の実績から、理科のおもしろさを知ってもらうのに貢献できるとの確信を持ち、大学という「場」を広く社会に開き、地域の方々にも本学の持つ知識や技術、施設を活用いただく活動を行います。

本パンフレットでご案内する催事は、そのうちのひとつです。わたくしたちの教育の一端に触れていただく機会になることを願っています。

■タイムスケジュール(開催場所、募集人数)

プログラム No.	開催場所 対象・募集人数	開催時間										プログラム No.	開催場所 対象・募集人数	開催時間													
		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	10:00	11:00	12:00			13:00	14:00	15:00	16:00										
1	1号館2階 多目的室 小学生、1回20名×2回 合計40名		1回目					2回目					40	1号館2階 121教室 小学生、約200名(1回約40分)													
2	1号館2階 多目的室 小学4年生以上、1回20名×2回 合計40名		1回目					2回目					41	1号館3階 132セミナー室 小学3年生以下、1回10名×10回 合計100名(30分ごとに開催)													
3	1号館2階 多目的室 小学3年生以上、1回10名×2回 合計20名		1回目					2回目					42	1号館3階 131教室 小学生、約500名(1回約30分)													
4	1号館3階 131セミナー室 小学生、1回15名×2回=合計30名		1回目					2回目					43	1号館3階 132教室 小学生、約500名(1回約20分)													
5	1号館3階 133セミナー室 小学3年生以上、1回15名×2回 合計30名		1回目					2回目					44	1号館3階 133教室 小学生、約500名(1回約10分)													
6	1号館3階 134セミナー室 小学5年生以上、1回10名×2回 合計20名		1回目					2回目					45	1号館4階 W科大学院講義室1 小学3年生以上、1回12名×4回 合計48名	1回目		2回目				3回目				4回目		
7	1号館4階 143教室 小学生、1回10名×5回 合計50名	1回目	2回目					3回目	4回目	5回目			46	1号館4階 141教室 小学生、約300名(1回約30分)													
8	1号館5階 153教室 小学生、1回10名×2回 合計20名		1回目					2回目					47	1号館5階 151教室、152教室 小学生、約500名(1回約30分)													
9	1号館6階 機械工学実験室16A 小学生、1回8名×10回 合計80名	1回目	2回目	3回目	4回目			5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	48	1号館6階 機械工学実験室1601、機械工学実験室1602、流体力学研究室 小学生、約200名(1回約30分)												
10	1号館6階 精密工学研究室 小学生、1回8名×6回 合計48名	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目						49	1号館6階 流体力学研究室 小学生、約100名(1回約30分)													
11	1号館7階 機械工学実験室1702 小学生、1回16名×3回 合計48名	1回目				2回目				3回目			50	1号館7階 自動車工学研究室 小学生、約50名													
12	1号館7階 機械工学実験室1703 小学生、1回6名×2回 合計12名	1回目				2回目							51	1号館7階 機械工学準備室1701 制限なし(1回約10分)													
13	1号館7階 機械工学実験室17C 小学3年生以上、1回10名×3回 合計30名	1回目				2回目				3回目			52	1号館7階 機械工学実験室1701 小学3年生以上、1回8名×5回 合計40名	1回目	2回目					3回目	4回目	5回目				
14	2号館1階 デザイン工房 小学生、1回25名×3回 合計75名	1回目				2回目				3回目			53	1号館7階 振動・音響研究室 小学生、約400名													
15	2号館1階 デザイン工房 小学生、1回6名×10回 合計60名	1回目	2回目	3回目	4回目			5回目	6回目	7回目	8回目	9回目	10回目	54	2号館1階 デザイン工房 小学生、1回8名/時間×5時間 合計40名												
16	2号館2階 生物学実験室 小学4年生以上、1回30名×2回 合計60名		1回目			2回目							55	2号館1階 デザイン工房 小学生、約100名													
17	2号館3階 233教室、2号館と中庭間の通路 小学生、1回10名×2回 合計20名	1回目				2回目							56	2号館1階 デザイン工房 小学生、1回24名×4回 合計96名	1回目		2回目				3回目	4回目					
18	5号館1階 電子情報通信実験Ⅱ第1実験室 小学5年生以上、1回5名×3回 合計15名	1回目				2回目				3回目			57	2号館1階 デザイン工房 小学生、1回10名×15回 合計150名(20分ごとに開催)													
19	5号館1階 電子情報通信実験Ⅱ第2実験室 小学3年生以上、1回10名×3回 合計30名		1回目			2回目				3回目			58	2号館1階 デザイン工房 小学生、1回9名×20回 合計180名(15分ごとに開催)													
20	5号館2階 E科第2実験室 小学生、1回20名×2回 合計40名	1回目				2回目							59	2号館1階 デザイン工房 小学生、1回6名×10回 合計60名(30分ごとに開催)													
21	10号館2階 溶融加工室 小学生、1回7名×2回 合計14名	1回目				2回目							60	2号館1階 デザイン工房 小学生、1回6名×6回 合計36名	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目							
22	10号館2階 組立加工室 小学4年生以上、1回8名×2回 合計16名	1回目				2回目							61	2号館2階 物理実験室 小学生、制限なし													
23	10号館2階 組立加工室 小学3年生以下、1回8名×4回 合計32名	1回目	2回目			3回目	4回目						62	2号館2階 物理実験室 小学生、制限なし(1回約30分)													
24	10号館2階 組立加工室 小学4年生以下、1回8名×2回 合計16名		1回目			2回目							63	2号館2階 物理実験室 小学生、制限なし													
25	10号館2階 組立加工室 小学4年生以上、1回5名×3回 合計15名	1回目	2回目			3回目							64	2号館5階 工学部予備室 小学生、1回20名×4回 合計80名	1回目	2回目					3回目	4回目					
26	10号館2階 溶接室 小学生、1回10名×4回 合計40名	1回目	2回目			3回目	4回目						65	4号館5階 空間デザイン研究室(1) 小学4年生以上、制限なし(1回約10分)													
27	10号館2階 回路製作室 小学3年生以上、1回8名×2回 合計16名		1回目			2回目							66	5号館1階 E科大学院研究室および雨天時中庭5号館前 小学生、1回16名×5回 合計80名	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目								
28	10号館3階 インキュベーション・ラボ 小学生、1回7名×2回 合計14名		1回目			2回目							67	5号館1階 E科第1実験室 小学5年生以上、1回6名×4回 合計24名	1回目	2回目					3回目	4回目					
29	10号館3階 小物組立室 小学4年生以上、1回6名×2回 合計12名		1回目			2回目							68	5号館1階 電子情報通信実験Ⅲ第3実験室 小学生、1回12名×3回 合計36名	1回目				2回目			3回目					
30	10号館3階 小物組立室 小学3年生以上、1回8名×1回 合計8名	1回目											69	5号館1階 電子情報通信実験Ⅲ第4実験室 小学生、50名(1回約30分)													
31	10号館3階 小物組立室 小学3年生以上、1回8名×1回 合計8名					1回目							70	5号館3階 E科第3実験室 小学生、1回20名×3回 合計60名		1回目			2回目			3回目					
32	10号館3階 小物組立室 小学生、1回6名×2回 合計12名	1回目				2回目							71	5号館4階 E科会議室 小学生、1回8名×4回 合計32名	1回目	2回目			3回目			4回目					
33	10号館4階 1041教室 1回目:小学3年生以下、20名、2回目:小学4年生以上、20名 合計40名	1回目				2回目							72	10号館前広場(芝生外周回コース) 小学4年生以上、1回目20名、2回目40名、合計60名	1回目				2回目								
34	10号館4階 1042教室 小学3年生以上、1回15名×2回 合計30名	1回目				2回目							73	10号館1階 総合機械加工室 制限なし													
35	10号館4階 1043教室、河川敷グラウンド 小学生、1回20名×1回 合計20名					1回目							74	10号館7階 学生実験室1 小学生(材料がなくなるまで)(1回約30分)													
36	10号館4階 1043教室、10号館前広場(芝生内) 小学生、1回20名×1回 合計20名	1回目				2回目							75	10号館7階 学生実験室2 小学3年生以上、1回30名×5回 合計150名	1回目	2回目			3回目	4回目	5回目						
37	10号館5階 大学院講義室および共同ゼミ室 小学生、1回20名×2回 合計40名	1回目				2回目							76	10号館8階 会議室 小学生(材料がなくなるまで)(1回約30分)													
38	10号館7階 学生実験室1 小学3年生以上、1回15名×4回 合計60名	1回目	2回目			3回目	4回目						77	10号館8階 小会議室 小学生(材料がなくなるまで)													
39	10号館7階 学生実験室2 小学生、1回15名×3回 合計45名	1回目				2回目				3回目			78	10号館8階 セミナー室1 小学生、1回20名×5回 合計100名	1回目	2回目			3回目	4回目	5回目						
													79	10号館8階 セミナー室2 小学生、1回20名×5回 合計100名	1回目	2回目			3回目	4回目	5回目						